



P R E S S R E L E A S E

* 本リリースは 2014 年 12 月 18 日 (現地時間) に、英国、米国で発表されたプレスリリースを翻訳したものです。

2015 年 1 月 9 日

CSR、ARM mbed OS 向けコネクティビティで Internet of Things の扉を開く Wi-Fi®、Bluetooth®、Bluetooth Smart ソリューションが IoT 機器開発への参入障壁を除去

[CSR plc](#) (ロンドン証券取引所 略号: CSR、NASDAQ 略号: CSRE、以下「CSR」) は本日、新しい ARM® mbed™ OS (オペレーティング システム) 向けにリリースが予定されている同社コネクティビティ・ソリューションの詳細を発表しました。開発者は、より迅速かつ簡単にあらゆる種類の Internet of Things (IoT) 対応機器を開発できるようになります。

CSR は、IoT 開発者コミュニティに [2 種類の mbed 拡張ボード](#) (シールド) を提供します。一方のシールドは、CSR6030™ と CSR8311™ をベースとして [Wi-Fi](#) と [Bluetooth](#) を組み合わせたもの、他方は、[CSR1010™](#) をベースとして [Bluetooth Smart 接続](#) を提供するものです。両シールドともに、本年の早い時期にリリース予定で、ARM 社が昨年 10 月に発表し、同じく本年早い段階で開発者が利用できる予定の ARM mbed OS とシームレスに連携するよう設計されています。両システムは、あらゆる種類の IoT 機器に必須となる基本的コネクティビティを提供します。簡単に実装できるコネクティビティ・ソリューションの選択肢が増えることで、開発者は、それぞれの機器に最適なパフォーマンスを発揮させるテクノロジーを実現できるようになります。

CSR のビジネス・グループ担当シニアバイスプレジデント、アンソニー・マレー (Anthony Murray) は、次のように述べています。「mbed OS は、ARM のプロセッシング・エンジンと CSR のコネクティビティ・ソリューションを組み合わせることで、開発者の負担を大幅に軽減し、コネクテッド・デバイスを市場投入するまでの開発期間を短縮し、同時にコストを抑制します。これは、変化が早く、競争が激しいコンシューマー向け IoT 市場で成功を収めるために、きわめて重要な要因です。フルスタック・プラットフォームにより、多様なハードウェア上で稼働するブロックを簡単に再利用できるので、開発者コミュニティをサポートしてきた ARM の優れた業績を拡張する mbed OS は、各種 IoT デバイスが市場に出るのをさらに早めます。」

ARM 社の IoT ビジネス担当ゼネラル・マネージャー、クリスチャン・フロートナー (Krisztian Flautner) 氏は、次のように述べています。「IoT を大規模に機能させるには、概念実証からプロトタイプ作り、大量生産に至るまで、開発者がアイデアをシームレスに進展させることができるよう、相互に連携する一連のハードウェアおよびソフトウェア・ソリューションを提供する必要があります。この開発過程を迅速化する一連のコネクティビティおよびロケーション製品群を擁する CSR は、ARM が mbed IoT 機器用プラットフォームを展開していくうえできわめて重要なパ

ートナーです。70,000人の mbed 開発者から構成される強力なエコシステムが、IoT 社会を商用規模で実現していく上で、CSR からのコンポーネントは、とても貴重なものです」

CSR は、開発者に包括的なツール・セットを提供し、新しい製品を市場に送り出し続けることを徹底して支援していくというコミットメントの一環として、昨年 2 月、[ARM mbed プラットフォーム](#)にコンポーネント・パートナーとして参加しました。CSR は、mbed 開発者が、コネクティビティ機能に加えて、測位情報機能をも追加できるよう、定評ある [SiRFStarV](#) プラットフォームをベースとした GPS ボードも用意しました。このロケーション・ボードには、ソース・コードとリファレンス・デザインも付属し、[CSR ディストリビューター](#)から入手できます。

CSR の GPS mbed シールドは、[こちら](#)からダウンロードできます。

###

本プレスリリースは 2014 年 12 月 18 日(現地時間)に、英国、米国で発表されたプレスリリースを翻訳したものです。

原文は <http://www.csr.com/news/pr/2014/csr-unlocks-internet-things-arm-mbed-os-connectivity> をご参照下さい

関連リソース

*高精細製品画像

- ① http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/csr_gps_mbed_shield_1.jpg
- ② http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/csr_gps_mbed_shield_2.jpg
- ③ http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/csr_gps_mbed_shield_3.jpg

CSRについて:

CSRは、お客様が世界中のエレクトロニクス市場で成功をおさめるための様々な課題を解決し、変革の核となる技術を提供するため、妥協のない技術革新を進めています(push every boundary™)。ボイス&ミュージック、ドキュメント・イメージング、車載インフォテイメント、Bluetooth®Smart、屋内測位システム等の分野を中心に高性能な半導体、ソフトウェア、サービスの開発と、半導体チップへの集積を進めることで、人々のライフスタイルをより快適なものにし、途切れのないスムーズな接続とInternet of Thingsのもたらす真の恩恵を皆様にお届けします。詳細については、<http://www.csr.com/japan/> をご覧ください。また、最新の情報は、[テクニカル・ブログ](#)、[担当者ブログ](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも発信しています。CSRの無線オーディオ・コーデックであるaptX®の詳細については、<http://www.aptx.com/ja> をご覧ください。

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、CSRの各種モバイルソリューション、並びにそれらが各種電機製品等に搭載された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象、またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法(United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明(将来の事業または業績に関する経営陣の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む)を含んでいます。これらの予想に関する記述は、上記につき各々「予定であ

る」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSRの各種モバイルソリューション、並びにこれらの技術を搭載した電機製品、周辺機器の性能、機能、または特徴の変更・向上等に際して将来発せられる一連の発表は、そのいずれもがCSRおよびその顧客の継続的評価の対象に服すものであり、実現されるか否かは不確実であり、かつCSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、証券購入の判断に利用すべきではありません。かかる予想に関する記述は、CSRの経営陣の現時点での予想と見解を示すもので、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に関与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連し、その多くはCSRによる管理の及ぶ範囲を超える事項に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト (<http://www.sec.gov>) で公開されているCSRの定期レポート(「Risk Factors(リスク要因)」または「Forward Looking Statements(将来予想に関する記述)」という見出しの下、またはその他の箇所)で詳述されていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

*Bluetooth®およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

*Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, WMM®, Wi-Fi Protected Access®, WPA®, WPA2®, Wi-Fi Protected Setup™ 及び Wi-Fi Multimedia™ はWi-Fi Allianceの登録商標です。

*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

<報道関係お問い合わせ先>

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本

電話:03-4570-3191 E-mail: csr_pr@ml.prap.co.jp

<お客様、ユーザー様お問い合わせ先>

シーエスアール株式会社

深田 学

電話:03-6403-7100 Email: prjp@csr.com